

教科目名 校外実習 (Factory Training)

学科名・学年 : 制御情報工学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ○科目)

単位数など : 選択 1単位

担当教員 : 4年学級担任

授業の概要			
学校では学習できない企業現場での就業体験を通して、専門分野での自分の知識を確かめ、さらに発展させるとともに、本科における勉学の目的を明確にし、将来の自分の進路を決める際の一助とするものである。また、「企業が要求する技術者像とは何か」をこの実習を通して学び、それを今後の学習に生かし、社会人、職業人としての基本的な心構えを学ぶ。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(B2)
(1) 専門分野での自分の知識を確かめ、さらにそれ発展させることができる。(報告書, 報告会)			
(2) 企業が要求する技術者とは何かを学び、その心構えができる。(報告書, 報告会)			
(3) 研修先の人たちの指導や協力を仰ぎながら、問題を解決する手段や方法を学ぶ。(報告書, 報告会)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
4月	1. ガイダンス	○クラス担任によるガイダンスの実施。	【理解の度合い】
4~7月	2. 実習先の決定	○クラス担任を通して実習先に申し込む。	
夏季休暇中	3. 実習	○実習期間は一週間以上とする。	
9月	4. 報告書の提出	○「校外実習報告書」をまとめクラス担任に提出する。	
9月	5. 実習報告会	○実習の内容や成果について発表する。	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 校外実習の詳細については、学生便覧「大分工業高等専門学校における校外実習、課題学修および特別学修に関する細則」を参照。 実習先企業の厚意で、実習を受け入れて頂いているので、迷惑をかけることのないように注意する。 		【総合達成度】
教科書			
参考図書			
自学上の注意	事前にインターンシップ先の企業を充分調べておくこと。		
関連科目	実務実習(専攻科)		
総合評価	達成目標(1)~(3)について、実習先機関からの「校外実習証明書」と本人の「校外実習報告書」および実習報告会の発表内容を総合して、評価する。 総合評価=報告会の評点 x0.6+校外実習報告書 x0.4 総合評価が60点以上を合格とする。再試験は行わない。		【総合評価】 点